

〈69年目の朝〉

生まれて25,203日目の朝、この日の畑を焼き付けようと早朝の風景を撮る。当り前のよ  
うに迎えた今日の日、でもそれは決して当たり前なのではなくいくつもの奇跡が重なって  
の今日なのだ。そう思うと、周りの草も木も虫も水玉さえも愛おしくなる。全ての繋がり  
の中に生かされている自分は、同じように誰かを何かを生かせる存在でありたい。

